

大学評価・IR担当者集会2020

評価初心者セッション 講義編④

—初めて評価を担当される方へ—

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント

大学評価コンソーシアム

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント 本章の概要

- 本章では、自己評価書作成時に気を付けていくべきポイントについて説明します。（全体所要時間：20分弱）
 - （1）記述・表現が明確か？ [スライド3～4]
 - （2）実施状況や成果の説明に具体性があるか？ [スライド5]
 - （3）データは適切に使われているか？ [スライド6～8]
 - （4）目標・計画・質問の捉え方、目標・計画そのものについて、問題はないか？ [スライド9～10]
- 以下を達成目標とします。
 - (a) 自己評価書作成時のチェックポイントを考え方とともに説明できる。
 - (b) ここで得た知識を、実際の自己評価書作成・改善の現場で活用できる。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (1) 記述・表現が明確か？ (1/2)

(1-1) 言葉の定義は明確か？

■ 次のような用語等に注意

①人によって定義・解釈が異なる可能性のある用語

(例) グローバル化, コミュニケーション力

②学内でのみ通用する用語・略称

(例) 神大アドバイザー, KUID

- これらについては, 評価者との間で共通認識を形成できるように自大学で用いている定義や具体的な内容を説明する必要がある。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (1) 記述・表現が明確か？ (2/2)

(1-2) 曖昧な用語を使用していないか？

- 評価書には客観性が求められる。
- 「それほど」、「だいたい」、「思われる」、「図る」等の曖昧な用語を使わず、明快に言い切る表現が求められる。

(例1) 「卒業生アンケートの結果、大学生活にだいたい満足している。」

→ 「だいたい」の基準が分からないので達成度を判断できない。

(例2) 「内部質保証システムの整備が図られた。」

→ 「結局、内部質保証システムは整備できたのか」という疑問が生じる。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (2) 実施状況や成果の説明に具体性があるか？

- 自己評価書の説明が具体的に書いてあると、何をやっているのか、あるいはどんな成果があったのかイメージできる。

(例1) 「毎学期学生アンケートを実施し、結果を授業改善に活かしている。」

→ 「改善の内容、改善後の成果はどうなっているか」という疑問が出てくる。

(例2) 「学生の学修成果を定期的に教員が確認し、学生の学修成果の向上を図るため、ポートフォリオを導入している。」

→

- 想定した結果が伴っていない場合、その原因や改善策を示すことが重要。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (3) データは適切に使われているか？ (1/3)

- 「エビデンス（根拠）に基づく評価」が原則
 - = 定量的あるいは客観的なデータを示した上で、結論を根拠づける。
- 目標・計画あるいは認証評価における質問に照らして、また、自己評価書本文の記載内容に照らして、次を行う必要がある。
 - ① 実施状況や成果を“端的に”示すものであるかどうか吟味
 - ② 提示内容は必要十分であるかどうか吟味
 - ③ 資料・データの精選，あるいは資料・データを分かりやすい形に整理
- 成果を示す場合，事前と事後の比較，経年変化などのデータに基づく分析がなされていることは，改善・向上などの変化の程度を明確に示す意味で有効。表やグラフの利用も効果がある。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (3) データは適切に使われているか？ (2/3)

(例) 「共同研究収入は前年度よりも300万円増加した(資料1)。」

資料1 前年度及び今年度の共同研究タイトル一覧

| 共同研究先 | 研究タイトル | 研究期間 |
|---------|-----------------|--------|
| 〇〇製薬 | 老化防止薬の開発 | H28～R2 |
| △△△情報通信 | ビッグデータの管理に関する研究 | R1～R2 |
| ◇◇◇◇工業 | 耐震性を高める建築方法 | R1 |
| ◇◇◇◇工業 | 断熱効果の高い建築方法 | R2 |

→ 収入額に関する情報が一切記されていないので、この計画の実施状況を説明する根拠資料としては不適切。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (3) データは適切に使われているか？ (3/3)

(例) 「共同研究収入は前年度よりも300万円増加した(資料1)。」

資料1 前年度及び今年度の共同研究タイトル一覧

| 共同研究先 | 研究タイトル | 研究期間 | 収入額(千円) | |
|---------|-----------------|--------|---------|-------|
| | | | R1 | R2 |
| 〇〇製薬 | 老化防止薬の開発 | H28~R2 | 5,000 | 5,000 |
| △△△情報通信 | ビッグデータの管理に関する研究 | R1~R2 | 6,500 | 8,500 |
| ◇◇◇◇工業 | 耐震性を高める建築方法 | R1 | 2,000 | — |
| ◇◇◇◇工業 | 断熱効果の高い建築方法 | R2 | — | 3,000 |

→ 収入額の欄を追加したとしても、この記述に対する資料としては分かりづらい。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (4) 目標・計画・質問の捉え方, 目標・計画そのものについて, 問題はないか? (1/2)

- 目標・計画あるいは認証評価における質問に沿って, もれなく結果を記す。
～ 評価者は自己評価書の記載内容“だけ”を頼りに評価する。
- 目標・計画あるいは認証評価における質問の内容を的確に捉え, 整合性のある記述をする。

| (例) | 計画 | 実施状況 |
|-----|-------------|--|
| | 教員評価を毎年度行う。 | 平成25年度より, 毎年度全ての授業について全学統一形式の授業評価アンケートを行い, その結果を授業改善に活用している。 |



4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント (4) 目標・計画・質問の捉え方, 目標・計画そのものについて, 問題はないか? (2/2)

- 曖昧な目標・計画, 実現可能性を無視した目標・計画, 行き当たりばったりの目標・計画など, 目標・計画そのものに問題がある場合もある。
(例) 計画「教員の研究活動を充実させる。」の問題点
 - (a) 計画の具体的な内容をイメージできない(人によってイメージする内容が異なる)。
 - (b) 自己点検・評価を行うときに事前に点検項目や数値目標などが設定されていなければ, 何をもって充実したと判断すればよいか分からない。
- 評価担当者としては, 目標・計画そのものに問題がある場合に, 具体的かつ達成可能な目標・計画に修正するように計画立案者に提案することも考えられる。ただし, 公表済みの目標・計画の修正は一般に困難である。

4. 自己評価書作成に当たってのチェックポイント 参考文献・URL

- 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課国立大学戦略室（2017）「国立大学法人の第3期中期目標期間における各事業年度に係る業務の実績に関する報告書 作成要領」
- 関 隆宏（2018）「初めて評価を担当される方へ（後編）」，情報誌『大学評価とIR』第9号，1～19
- 関口正司（2004）『教育改善のための大学評価マニュアル』，九州大学出版会．
- 大学評価コンソーシアム（2013b）「評価作業（記述の分析）のガイドライン－目標や計画に照らした記述内容のチェック作業から改善の示唆へ向けて－」，http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/documents/guideline/h25-0212_Hyouka_guideline_data_analysis.pdf
- 日本高等教育評価機構（2020）「令和2年度 大学機関別認証評価 受審のてびき（前編）」，http://www.jiheer.or.jp/achievement/guide/pdf/r2_tebiki.pdf